

資料2

長久手市文化の家自主事業報告書

(令和5年12月実施分まで)

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 文化の家アーカイブ展～25年のあゆみ

日時 令和5年7月1日（土）～30日（日） 10:00～19:00（最終日は17:00まで）

場所 長久手市文化の家 ガレリア・展示室

事業の種類 普及・啓発事業

出演者 25年間の懐かしの写真や貴重な資料、館内装飾では過去の主立った事業のエンブレムなど

公演内容 文化の家アーカイブ展～25年のあゆみ 同時開催で文化の家所蔵品展

入場者数 2716

支出 委託費 15,000円

計 15,000円

収入 入場料 0円

計 0円

回収率 0.0%

アンケート結果 アンケート未実施

担当者
コメント

文化の家の25年間のあゆみを広いガレリア空間を利用して、一年ごとの貴重な写真や装飾アートを交えて展示した。市民とともに、過去事業を振り返ることで、長久手市における文化の家の実績や存在意義を改めて市民とともに気づく機会となったと思う。



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|--|-----------|---------|
| 公演名 | 中学校であーと（長久手中学校） | | |
| 日時 | 令和5年7月4日（火） | | |
| 場所 | 長久手市立長久手中学校 | | |
| 事業の種類 | 普及・啓発事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 村松和奈（オーボエ）、滑川敬一（クラリネット）、安間花鶏（ファゴット） | | |
| 公演内容 | 木管三重奏によるクラシック音楽のアウトリーチ C.ドビュッシー：ゴリウォーグのケーキウォーク P.M.デュボワ：トリオダンシュよりユーモレスク J.イベール：5つの小品より第一楽章 W.A.モーツァルト：ディバリティメントよりアレグロ、メヌエット D.ミヨー：コレットによる組曲 | | |
| 入場者数 | 180 | 中学1年生6クラス | |
| 支出 | | 委託費 | 75,000円 |
| | | 計 | 75,000円 |
| 収入 | | 文化庁助成金 | 金額未定 |
| | | 計 | 0円 |
| 回収率 | 0.0% | | |
| アンケート結果 | 楽器を吹いてる所をまじかで見れて嬉しかった。（生徒） 聞く場所によって音が全然違った。（生徒） 近くで見ると吹いてる人の表情が見やすかった。楽器の説明を聞く前と聞いた後で聞き方が少し変わった。（生徒） メロディーや音によって表情が変わって、すごく気持ちがあるんだという事が伝わった。（生徒） 一つ一つの音に些細な違いがあって、聞いていて飽きなかった。奏でる音に物語を感じて、あれこれ想像するのも楽しかった。（生徒） 思ったより10倍も音が大きかった。（生徒） 控え室・会場の設定、大まかなスケジュール、メディア対応についてなど、打合せシートなどのフォーマットで進めていけるとよい。（教員） | | |
| 担当者コメント | 「であーと」は、文化の家に関わりのあるアーティストたちが、市内中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。長久手中学校では、令和3年度に長久手小学校の「であーと」に出演した「wind quintet sola」から、オーボエの村松和奈、クラリネットの滑川敬一、ファゴットの安間花鶏が再登場した。オーボエ、クラリネット、ファゴットの三重奏を指すフランス語「トリオダンシュ」に焦点を当て、木管楽器の魅力伝えるプログラムとなっていた。コミカルで軽快な選曲の演奏や、「好きな場所で自由に聴く」という体験コーナーを通して、生徒たちはクラシック音楽や演奏家という存在を間近に感じたようだった。いう存在を間近に感じたようだった。 | | |



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 中学校であーと（北中学校）

日時 令和5年7月12日（水）

場所 長久手市立北中学校

事業の種類 普及・啓発事業 配信 なし

出演者 小田智之（作曲・キーボード/創造スタッフ）、内田一晟（パーカッション/創造スタッフ）

公演内容 創造スタッフ2名による即興曲などを交えたアウトリーチ
即興による演奏
N. J. ジヴコヴィッチ：To The Gods of Rhythm
L. アンダーソン：タイプライター
生徒からお題を集めての即興演奏
MIKISARA：nebula
チック・コリア：スペイン

入場者数 223 中学1年生7クラス

| | | |
|-----|-----|---------|
| 支 出 | 委託費 | 50,000円 |
| | 計 | 50,000円 |

| | | |
|-----|--------|------|
| 収 入 | 文化庁助成金 | 金額未定 |
| | 計 | 0円 |

回収率 0.0%

アンケート結果

合図をしながら、体全体でリズムをとりながら音の大きさを合わせたり、速さを変えたりしていて、息ぴったりだなあと感じた。（生徒）

音楽には歌う・演奏する以外にも、作詞作曲などいろいろあることが分かった。（生徒）

タイプレコーダーの演奏がすごかった。普段の生活で見えるものを使って演奏していて、面白いな、やってみようと思った。（生徒）

音楽の表現の仕方は、無限大だなと感じた。（生徒）

打楽器にも色々な種類があって色々な音色があることを知った。（生徒）

テーマにあった曲を即興で演奏ができるのがすごいと思った。（生徒）

生徒がリズムに合わせて拍手をしたり、体を動かしたりして喜んでいて。（教員）

アンコールを踏まえた時間編成が課題であると感じた。（教員）

担当者コメント

「であーと」は、文化の家に関わりのあるアーティストたちが、市内中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。北中学校公演には、創造スタッフの小田智之と内田一晟が出演。即興演奏や、様々な楽器や奏法を駆使した演奏で生徒の関心を掴んでいた。なかでも生徒から3つのテーマを集めてそのテーマに沿った即興曲を披露する場面は大いに盛り上がった。また、各個人のそれぞれの活動を紹介したトークの際には、音楽家の仕事というものについて生徒が興味深そうに耳を傾けていたことが印象的だった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 長久手市文化の家開館25周年「25th祭り」

| | | | |
|---|---|--------------|-------------|
| 日 | 時 | 令和5年7月15日(土) | 10:00~18:00 |
| | | 令和5年7月16日(日) | 10:00~16:00 |

場所 長久手市文化の家 ガレリア・2Fパブリックスペース

事業の種類 普及・啓発事業 配信 なし

出演者 ART SHOP:愛知県立芸術大学在学学生・卒業生(27名)・賛助5名 ながくてマルシェ:市内店舗15店舗

公演内容 25周年記念所蔵品展／アーカイブ展／アーカイブ映像展／ART SHOP／ながくてマルシェ／創造スタッフパフォーマンスなど

入場者数 10,649

| | | | |
|---|---|-----|----------|
| 支 | 出 | 委託費 | 134,000円 |
| | | 計 | 134,000円 |

| | | | |
|---|---|-----|----|
| 収 | 入 | 入場料 | 0円 |
| | | 計 | 0円 |

回収率 0.0%

【所蔵品展】

長久手市の宝物が市民の目にもっと広く知ってもらいたい。

アンケート結果 **【ART SHOP】**

ふだん展示や発表の場でお会い出来ない層の方々にも見て頂けて感想をもらえたことが、とても学びの場となった。(出展学生)

担当者
コメント

文化の家開館25周年を祝うとともに、市民や利用者の方々への感謝の思いを「音楽・食・アート」で伝える《25th祭り》を開催した。所蔵作品展、県芸生や卒業生によるART SHOP、マルシェなど“アートのまち・長久手”の魅力を存分に楽しんでいただける2日間を企画。開館25周年記念「川上ミネピアノコンサート」を中心にのべ万人を超える来場があった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|---|------------|--|
| 公演名 | 長久手市文化の家開館25周年記念公演 長久手の音を紡ぐ 川上ミネ ピアノコンサート | | |
| 日時 | 令和5年7月15日（土） | 15時00分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 森のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 川上ミネ | | |
| 公演内容 | 月の浦、アニメ「モリゾーとキッコロ」メドレー、サンチャゴ・デ・コンポステラ、星の原野、やまと尼寺精進日記メドレーによる「たくましいピアニストのなるための練習曲」、アベ・マリス・ステラ、かなれのながれ、ただいま長久手、終わり国原日は暮れて鳥が鳴く、血の池、ここにかしこに天正の、プエナスノッチェス岩作、お昼休みの音楽室、SAGAMINE、新しいあなたへ | | |
| 入場者数 | 366 | 入場率 | 62.8% |
| チケット料金 | （前売）フレンズ会員2,500円、一般3,000円、学生1,000円 （当日）一般3,000円、学生1,000円 | | |
| 支出 | 委託費 | 2,000,000円 | |
| | 撮影委託費 | 500,000円 | |
| | チラシ印刷費 | 35,302円 | |
| | リニモ中吊り | 19,404円 | |
| | 計 | 2,554,706円 | |
| 収入 | 入場料 | 1,098,000円 | |
| | 計 | 1,098,000円 | |
| 回収率 | | | 43.0% |
| アンケート結果 | <p>ホールが素敵！音の響きもとっても良かった。音楽だけでなく、美術等のイベントもありとてもよかったです。15:00開演というのも他府県から来たものにはありがたい。（県外、50代女性）</p> <p>こまかい音の連続が、繊細だった。ベーゼンドルファーの低音はじめて聞いた。長久手の街はつくづく良い街だと思った。（市内、70代男性）</p> <p>演奏はもちろん、間のお話もとても面白く、ピアノの奏でる世界により没入できた気がした。2部では普段住んでいる長久手の風景を感じられ、自分のまだ知らない長久手もでてきて、そんな風景も誰かの日常や尊い記憶の一つなのだと思うと、愛と活力のつまったこの長久手という町がまた好きになった。（市内、20代女性）</p> | | |
| 担当者コメント | <p>文化の家25周年のメインイベントとして「川上ミネピアノコンサート」を行った。長久手の自然からインスピレーションを得て作り出した10曲を、選ばれた長久手の風景の映像とともにお届けした。川上ミネさんの「歌い継がれる曲」になってほしいとの思いから、10曲はレコーディングされ、CDとともに楽譜も出版される予定。ミネさんのノスタルジーとともに、長久手の魅力を再発見する機会となった。前日、当日と展示やマルシェもあわせてアトリウムで開催したため、25周年祭りにふさわしい賑わいが見られた。</p> | |  |

長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|--------|--|------------------|-------|
| 公演名 | 朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ番外編 「怪談屋敷」 | | |
| 日時 | 令和5年7月22日（土） | ①11時00分②14時00分開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 光のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 大脇ばんだ（朗読／創造スタッフ）、小田智之（作曲・ピアノ／創造スタッフ）、弓立翔哉（打楽器／元創造スタッフ） | | |
| 公演内容 | 朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズの番外編。演劇系創造スタッフ大脇ばんだによる朗読と、音楽系創造スタッフの小田智之（鍵盤・作曲）、昨年度まで音楽系創造スタッフであった弓立翔哉（パーカッション）との即興演奏で創る朗読と音楽企画。 作品…小西祐矢オリジナル作品（小豆洗い、言霊、すれ違い、友人の地元、光） | | |
| 入場者数 | 141 | 入場率 | 89.4% |
| チケット料金 | （前売）フレンズ・一般500円 （当日）フレンズ・一般500円 | | |
| 支出 | 委託費 | 30,000円 | |
| | 印刷製本費 | 24,388円 | |
| | 計 | 54,388円 | |
| 収入 | 入場料 | 80,000円 | |
| | （補助金）文化庁補助金 | 未定 | |
| | 計 | 80,000円 | |
| 回収率 | 147.1% | | |

アンケート結果
音がすごくリアルで物音がすごく怖かった。（市内、10代女性）
息子がすごく楽しみにしていた。怖がる姿が見えかくれてかわいかった。（市内、30代女性）
来年もやってほしい。時間の長さもちょうどよかった。（市外、50代男性）

担当者コメント
美術系、演劇系、音楽系創造スタッフによる公演。2回公演で、入場率が両公演とも85%を超え、美術系創造スタッフの小西さんのオリジナル怪談話も好評だった。チラシから子ども向けの内容と想定していた方が多く、内容に対して、大人向けと差異を感じるという意見もあった。今後は、内容に沿ったものになるようにチラシのディレクションを工夫する必要があると感じた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 工作ワークショップ いるかもおるかも

日時 令和5年8月4日（金） ①10時00分②13時30分開演

場所 長久手市文化の家 美術室

事業の種類 普及・啓発事業 配信 なし

出演者 橋寛憲（文化の家フランチャイズアーティスト）

公演内容 様々な材料をもとに、いるかもしれない生物を作り出す工作ワークショップ。
8月11日には作った工作でコマ撮りアニメを撮影。
いるかも：8月4日（金）10:00～ 22人、13:30～ 22人
コマ撮り：8月11日（金・祝）14:00～ 4人

入場者数 44 入場率 110.0%

チケット料金 （前売）500円
（当日）500円

| | | |
|-----|-------|---------|
| 支 出 | 印刷製本費 | 16,508円 |
| | 計 | 16,508円 |

| | | |
|-----|-----|---------|
| 収 入 | 入場料 | 18,000円 |
| | 計 | 18,000円 |

回収率 109.0%

アンケート結果 子どもは工作が好きなので、とても楽しんで作業していた。アニメーションの投影もおもしろかった。またやってほしい。（市内、40代男性）
あまりない企画で、参加型で、みんなのできたので楽しかった。発想も刺激になり、本当によかった。（市外、50代女性）
子供達が夢中になって作る様子や、チョコチョコと動かしていく様子が、見ていてとても楽しかった。なかなか体験できないことだったので大満足だった。またこういったWSに参加したい。（市外、40代女性）

担当者コメント フランチャイズアーティストの橋寛憲が身のまわりにある材料から生き物を作るワークショップを開催した。参加者は夢中になって取り組み、様々なアイデアに満ちた謎のいきものが生まれた。市民にも浸透してきており、申込みはすぐにいっぱいになり当日も好評であった。しかし後日実施した、制作した作品をコマ取りアニメにするワークショップへの参加人数は極端に少なかった。実施日が3連休ということもあり、予定を入れた家族がいる人が多かったのかもしれない。今後は実施日を検討する余地がある。



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|---|---------------|----------|
| 公演名 | 僕のワンダフル・ライフ | | |
| 日時 | 令和5年8月11日（金・祝） | ①10:00、②14:00 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 光のホール | | |
| 事業の種類 | 市民参画事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | デニス・クエイド、ベギー・リプトン、ブライス・ゲイサー、K・J・アバ、ブリット・ロバートソン、ほか 吹き替え声優：高木渉、大塚明夫、松岡洋子、寺崎裕香、花澤香菜、ほか | | |
| 公演内容 | 2017年 アメリカ 東宝東和「僕のワンダフルライフ」 シネマ倶楽部のメンバーが夏休みに家族で楽しめるように様々な映画を試写した中から選定した作品。 | | |
| 入場者数 | 131 | 入場率 | 81.9% |
| チケット料金 | （前売）500 （当日）500 | | |
| 支出 | 委託費 | | 132,880円 |
| | 印刷費 | | 24,784円 |
| | 計 | | 157,664円 |
| 収入 | 入場料 | | 65,500円 |
| | 計 | | 65,500円 |
| 回収率 | | | 41.5% |
| アンケート結果 | 何回生まれかわっても、何度も死んでしまうのが悲しく感じた。最後に、あの犬がベイリーだということがイーサンにわかってもらえたのが感動した。（市内、9歳以下女性） 犬の目線からの表現がおもしろかったことと、3回の生まれかわりをへて、イーサンに再会できたきせきに感動した。（市内、40代男性） このシリーズ作を別の機会に視聴したことがあったが、その内容につながるものと感じ、興味を持った一方でいろいろな犬を知る機会や映画自体の面白さも分かり、見た甲斐があったと感じた。（市内、10代男性） | | |
| 担当者コメント | 市民で運営し、作品を選定するシネマ倶楽部が、夏休みに子供が楽しめる映画を上映するために企画。洋画だったため、日本語吹き替えではなく字幕で上映してしまい、もう一度再生しなおすトラブルがあったものの、ほとんどの観客が感動した様子だった。親子での参加が多く、小学校へのチラシ配布が功を奏し、小学生の子ども同士で見に来ている子も多くいた。 | | |



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|---|-----------|--|
| 公演名 | 中部フィルハーモニー交響楽団 長久手特別演奏会 夏休み！ファミリーポップスコンサート～映画音楽の名作で～ | | |
| 日時 | 令和5年8月19日（土） | 15時00分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 森のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 藤野浩一（指揮・編曲）、岩佐麻里子（クラウン（道化師））、中部フィルハーモニー交響楽団（演奏） | | |
| 公演内容 | 星に願いを、バック・トゥ・ザ・フューチャー、ダース・ベイダーのテーマ、ドラえもんの楽器紹介、ドラえもんの指揮者コーナー、夢をかなえてドラえもん、閑かなる男、オズの魔法使いファンタジー、ホーム・アローン・メドレー、アダムス・ファミリー・メドレー、組曲「道化師」より プロローグ、行進曲、ワルツ、ギャロップ、ホール・ニュー・ワールド、見上げてごらん夜の星を、風と共に去りぬ | | |
| 入場者数 | 394 | 入場率 | 59.6% |
| チケット料金 | （前売）フレンズ会員2,500円、一般3,000円、学生（中学生～25歳まで）1,000円、小学生まで500円 （当日）フレンズ会員2,500円、一般3,000円、学生（中学生～25歳まで）1,000円、小学生まで500円 | | |
| 支出 | 提携事業のため支出なし | | |
| | | 計 | 0円 |
| 収入 | 提携事業のため収入なし | | |
| | | 計 | 0円 |
| 回収率 | | | |
| アンケート結果 | 赤ちゃんと一緒にオーケストラが聴けて貴重なコンサートだった。（市内、30代女性） クラウンがいてくれたおかげで子どもも退屈せずに聴くことができた。（市外、50代男性） 指揮の藤野さんやコンマスの平光さんの人柄が感じられるアットホームなコンサートで感動した。（市内、10代女性） | | |
| 担当者コメント | 小牧市を拠点とする中部フィルハーモニー交響楽団との提携公演。夏休み中の子どもたちとその家族を主な対象に、「0歳から入場可、泣いてもぐずっても大丈夫」というコンセプトを掲げて実施した。指揮者のユーモア溢れる軽快なトークと、クラウンによるおもしろおかしいパフォーマンス、指揮者体験コーナーなど、常に観客を飽きさせないプログラムであり、会場は温かな雰囲気につつまれた。反省点として、席設定やチケット販売数の割り振り、当日の電子チケット対応等において、事務局同士の情報共有不足による混乱があったため、今後開催するのであれば、密な情報共有が必要である。 | |  |

長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|--|-----------|--|
| 公演名 | ホール見学SHOW | | |
| 日時 | 令和5年8月24日（木） | 14時00分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 森のホール | | |
| 事業の種類 | 普及・啓発事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | ブラクトミー、魔界帝王デスカイザー、ザング、ドドス、モギコ 内田一晟（打楽器／創造スタッフ）、小田智之（ピアノ／創造スタッフ）、大脇ぼんだ（俳優／創造スタッフ）、林友里菜（ダンス／創造スタッフ） | | |
| 公演内容 | 文化の家オフィシャルYouTubeチャンネルに登場する魔界からやってきたキャラクター「魔界補佐官ブラクトミー」と演劇系創造スタッフの大脇ぼんだが掛け合いによる進行で、森のホールの歴史や舞台機構を案内する。後半は、舞台演出実演を兼ねた、魔界を冒険するストーリー仕立てのショート演劇を行う。音楽系創造スタッフの内田一晟（パーカッション）、小田智之（作曲・ピアノ）、舞踊系創造スタッフの林友里菜も登場し、随所に演奏やダンスを入れながら楽しめる内容とする。 | | |
| 入場者数 | 131 | 入場率 | 32.4% |
| チケット料金 | 無料 | | |
| 支出 | 委託費 | 0円 | |
| | 印刷製本費 | 22,903円 | |
| | 計 | 22,903円 | |
| 収入 | 入場料 | 0円 | |
| | （補助金）文化庁補助金 | 未定 | |
| | 計 | 0円 | |
| 回収率 | 0.0% | | |
| アンケート結果 | <p>娘(小1)は年中からの2年半、コロナ禍ということで人混みを避け、映画館ですらこの春休みまで行ったことがなかったが、広い舞台で劇を観ることができてうれしかった。(市外、40代女性)</p> <p>早くコロナが落ち着いて、舞台裏を見られる様になりたい。キャラクターが手作り!!とは本当に感動した。ブラクトミーにさわりたいかった(市内、40代女性)</p> <p>椅子がひっくりかえってすごかった。(市内、10代男性)</p> | | |
| 担当者コメント | <p>毎年夏休みに家族で参加でき楽しめる舞台見学SHOWを今年も開催した。台本を一新させ、ダンスを盛り込んだことで、ジャンルを超えた魅力が子どもたちに伝わっていた。アンケートからも来場者の評価の高さがうかがえる。小学校や保育園、児童館には配布していたが、集客をもう少し伸ばしたかった。子どもが集まる場所や近隣市町への送付を考えたい。</p> | |  |

長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|--------|---|------------|-------|
| 公演名 | 2023ジョイントフェスティバル チト～みどりのゆびをもつ少年～ | | |
| 日時 | 令和5年8月26日（土） | 13時30分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 森のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 人形劇団むすび座 | | |
| 公演内容 | 原作：「TISTOU LES POUCES VERTS」（Maurice DRUON作） 「みどりのゆび」訳：安東次男 脚色：篠原久美子、演出：福永朝子 | | |
| 入場者数 | 275 | 入場率 | 80.2% |
| チケット料金 | （前売）フレンズ会員1,500円、一般2,000円、小中学生1,000円、未就学児（4歳～）500円 （当日）一般2,000円、小中学生1,000円、未就学児（4歳～）500円 | | |
| 支出 | 委託費 | 1,120,000円 | |
| | チラシ印刷費 | 24,491円 | |
| | 計 | 1,144,491円 | |
| 収入 | 入場料 | 371,022円 | |
| | 瀬戸信用金庫地域振興協力基金 | 100,000円 | |
| | 計 | 471,022円 | |
| 回収率 | 41.2% | | |

アンケート結果

えまちゃんが歩いてよかった。（9歳以下女性）
 娘がたくさん感情をうけとった。（30代女性）
 観に来られてよかった。心に花が咲いた。（40代女性）
 ウクライナの戦争も早く終わりますように（50代女性）

担当者コメント

今年も他館と連携してジョイントフェスティバルを開催した。今年は戦争をテーマとした人形劇で、ターゲット層にしていた親子層の来場が多くあった。アンケートの評価でも、テーマ性や内容について、昨今の世界情勢もあり、多くの方にご好評いただけた。近隣市町で近い日程で同公演が開催されていたので、今後は連携打合せの際に調整を行うことで、より多くの集客が望めると思う。



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|--------|---|-----------|---------|
| 公演名 | 音楽講座シリーズ「音楽と演劇」 | | |
| 日時 | 令和5年8月27日（日） | 14時00分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 光のホール | | |
| 事業の種類 | 普及・啓発事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 小室敬幸 | | |
| 公演内容 | 演劇で使われる音楽の講座。古典劇の音楽から現代演劇と音楽分野の融合まで、演劇と音楽のかかわりについて扱う。 | | |
| 入場者数 | 30 | 入場率 | 36.6% |
| チケット料金 | (前売) 500円 (当日) 500円 | | |
| 支出 | 委託費 | | 60,000円 |
| | 計 | | 60,000円 |
| 収入 | 入場料 | | |
| | 計 | | 0円 |
| 回収率 | | | 0.0% |

アンケート結果 高度な内容なのに、わかりやすい。音楽や映像がふんだんに使われ楽しい。（市外、60代女性）
演劇と音楽というテーマにひかれて参加して良かった。（市内、60代女性）
相変わらず素晴らしい！ 内容が豊富すぎてついていけない！（市内、70代男性）

担当者
コメント

常連客が定着してきた音楽講座シリーズだが、今回は演劇と音楽ということで、これまで参加していなかったような演劇関係からの参加者がみられ、新たな客層の開拓につながった。一方で、音楽あるいは演劇の基礎知識がないと理解が難しいような内容もあり、内容の満足度には差がみられた。どちらの客層に向けても理解しやすい内容の検討が今後の課題となった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|---|-----|------------|
| 公演名 | 開館25周年記念 「どうした長久手～九人の武将幻想伝～」 | | |
| 日時 | 令和5年9月9日（土）①15時00分開演 令和5年9月10日（日）②11時00分開演、③15時00分開演 | | |
| 場所 | 長久手市文化の家 森のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 作・演出：鹿目由紀（劇団あおきりみかん） 出演：大脇ばんだ（劇団B級遊撃隊）、熊埜御堂正之（市民）、ジル豆田（てんぶくプロ）、すがとも（座☆NAGAKUTE）、多嘉山秀一（座☆NAGAKUTE）、二宮信也（星の女子さん）、二瓶翔輔、藤島えり子（room16）、松井真人（劇団あおきりみかん）、山形龍平（タツノオトシドコロ） | | |
| 公演内容 | 大河ドラマ「どうする家康」にちなみ、小牧・長久手の合戦のあった長久手で、もう一つの天下分け目の戦いを題材にした創作演劇。 | | |
| 入場者数 | 508 | 入場率 | 70.0% |
| チケット料金 | （前売）フレンズ1,500円、一般2,000円、学生1,000円、小中学生無料 （当日）フレンズ1,500円、一般2,000円、学生1,000円、小中学生無料 | | |
| 支出 | 委託費 | | 2,601,900円 |
| | チラシ印刷費 | | 32,943円 |
| | 計 | | 2,634,843円 |
| 収入 | 入場料 | | 748,000円 |
| | 瀬戸信用金庫地域振興協力基金 | | 480,000円 |
| | 計 | | 1,228,000円 |
| 回収率 | | | 46.6% |
| アンケート結果 | 「小牧・長久手の戦」の現地でわかりやすい演劇にさせていただいてとっても良かった！（市外60代女性） お1人お1人ととても魅力的なキャラクターであつという間に時間がすぎた。（市外50代女性） 歴史とても大好きなのでとても楽しめた。他にもくすと笑える場面もありより楽しめた。最後のクイズコーナーも良かった。（市内10代男性） | | |
| 担当者コメント | 開館25周年記念公演の演劇の目玉として企画。戦国創作劇でありながら、血しぶきや殺陣ではなく、武士達の心理戦をユーモアたっぷりに描いた創作劇は、とても観やすく誰もが楽しめる公演となった。それぞれの武将の特徴をふんだんに生かしつつ、学芸員監修による歴史背景も組み込まれていたことで、小牧・長久手の戦いやそれに関わる武将についての知識を深めることもできたと感じている。また、公演後のクイズコーナーでは小中学生はもちろん大人も楽しめる内容となり、ホワイエでは文化財係の催しも開催され、たくさんのお客様で賑わうお祭り感満載の2日間となった。 | | |



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|---|-----------|-------|
| 公演名 | 愛知県立芸術大学 室内楽の楽しみ | | |
| 日時 | 令和5年9月24日（日） | 16時00分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 風のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業（提携） | 配信 | なし |
| 出演者 | 愛知県立芸術大学学部生、院生 | | |
| 公演内容 | C. サン＝サーンス：七重奏曲 変ホ長調 作品65より 第1,3,4楽章、B. マルティヌー：オーボエ四重奏曲 H. 315、C. パン：アンタレス、J. フランセ：コールアングレ、ヴァイオリン、ヴィオラとチェロのための四重奏曲、N. ロータ：フルート、オーボエ、ヴィオラ、チェロとハープのための五重奏曲より 第1楽章、F. メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第2番 ハ短調 作品66より 第1楽章、D. ショスタコーヴィチ：ピアノ三重奏曲 第2番 ホ短調 作品67より 第3,4楽章、W. ラブル：クラリネットとヴァイオリン、チェロ、ピアノのための四重奏曲 変ホ長調 作品1より 第1,3,4楽章 | | |
| 入場者数 | 163 | 入場率 | 82.3% |
| チケット料金 | （前売）一般1,000円、学生500円 （当日）一般1,000円、学生500円 | | |
| 支出 | 提携事業のため支出なし 計 0円 | | |
| 収入 | 提携事業のため収入なし 計 0円 | | |
| 回収率 | | | |
| アンケート結果 | クラシック曲はあまりなじみのないものばかりだったが、トークを交えた紹介でとけ込みやすかった。（市内、70代女性） なじみの無い曲もあり、新鮮なコンサートであった。若い人の演奏を聴くと元気が出る様な気がした。（市外、70代男性） エネルギッシュな演奏、とても良かった。（県外、50代女性） | | |
| 担当者コメント | 学内オーディションによって選抜されたグループによる毎年恒例の演奏会。出演者と文化の家事務局とで3回のミーティングを開催し、劇場運営方法などを学んでいる。今回のミーティングでは、グループワークや卒業生の体験談を取り入れ、出演者が自身の進路について考えるきっかけづくりを目指した。演奏会は常連のお客様もついているコンサートとあって、客入りも良く、好評であった。また、ミーティングにおいてMCの重要性を説いたこともあり、出演者はMCに各々趣向をこらし本番に臨み、そのトークも評判であった。 | | |



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|-------|--|-----------|----|
| 公演名 | トワイライトダンス | | |
| 日時 | 令和5年9月30日（土） | 18時00分 開演 | |
| 場所 | 芝生広場（雨天：アトリウム） | | |
| 事業の種類 | アートのまち創造事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 林友里菜（舞踊系創造スタッフ）、大脇ぱんだ（演劇系創造スタッフ）、小田智之（音楽系創造スタッフ） ダンサー 松林由華、山崎文香 ドラム 深谷雄一 | | |
| 公演内容 | 主に音楽や朗読と組み合わせた即興でのダンス公演 屋外で夕暮れを背景にダンスを楽しむ観覧自由の公演。 | | |
| 入場者数 | 80 | | |
| 支出 | 共演者出演委託費 | 50,000円 | |
| | 印刷製本費 | 11,637円 | |
| | 計 | 61,637円 | |
| 収入 | 入場料 | 0円 | |
| | （補助金）文化庁補助金 | 未定 | |
| | 計 | 0円 | |
| 回収率 | 0.0% | | |

アンケート結果 アンケート未実施

担当者
コメント

創造スタッフによる企画。気軽に楽しめるコンテンポラリーダンスイベントとして、昨年度に引き続き2回目の開催である。当日は時折小雨が降る悪天候であったが、屋外イベントでリハから音を鳴らして行っていたこともあり、通りがかかった人が立ち寄り、最後まで観覧する人が多かった。反省点としては、天候によって屋外での開催が左右され、屋内だと今回のように気軽に立ち寄る人が少ない可能性がある。そのため、今後は屋内でもトワイライトの雰囲気演出や周知を工夫する必要がある。



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|--|-----------|---|
| 公演名 | アウトドアゲームラボ | | |
| 日時 | 令和5年10月9日（月・祝） | 13時00分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 講義室1・芝生広場（雨天：舞踊室） | | |
| 事業の種類 | 自主創造活動事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 高野葵（美術系創造スタッフ） | | |
| 公演内容 | 美術系創造スタッフ高野葵が行うゲームラボの屋外編。一から新しいゲームとルールを作るワークショップ。 | | |
| 入場者数 | 7 | 入場率 | 35.0% |
| チケット料金 | （前売）500円 （当日）500円 | | |
| 支出 | 印刷製本費 | | 20,821円 |
| | 計 | | 20,821円 |
| 収入 | 入場料 | | 3,500円 |
| | 文化庁補助金 | | 未定 |
| | 計 | | 3,500円 |
| 回収率 | | | 16.8% |
| アンケート結果 | <p>とてもたのしかった。そとであそべるゲームを新しく、自分でつくれてうれしかった。またあったらきたい。（市内、10代女性）</p> <p>ゲームをつくったことがなかったし、思ったよりむずかしかったので、すごかったのしかった。（市内、9歳以下女性）</p> <p>自分の考えをありのままにできてよかった。（市内、10代男性）</p> | | |
| 担当者コメント | <p>美術系創造スタッフ高野葵による企画。最初は参加者に緊張感が見られたが、材料を吟味しゲームを作る中で、徐々に打ち解けてコミュニケーションが図られ、最後は参加者全員が同じゲームをして遊んでいて盛り上がっていた。課題としては、参加者が伸びなかったことが挙げられる。今回小中学校へチラシを配布したが、今回行う内容が伝わりづらかった。楽しかったという感想が多いため、次回は誰にでもわかりやすく伝わるコンテンツを吟味してチラシをデザインする。</p> | |  |

長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|---|------------|---|
| 公演名 | ワーテルロー音楽祭 | | |
| 日時 | 令和5年10月29日（日） | 14時00分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 森のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業 | 配信 | なし |
| 出演者 | 神田望美 (Fl.)、ラファエル・オブリ (Va.)、アレキサンダー・ドミトリエフ (Vc.)、ダニエル・ルービンシュタイン (Vn.)、ジャン＝クロード・ヴァンデン・エインデン (Pf.) | | |
| 公演内容 | W.A.モーツァルト:ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 K.478 W.A.モーツァルト:フルート四重奏曲 第1番 ニ長調 K.285 ニコラ・バクリ:フルート・ヴィオラ・ピアノのための三重奏曲第6番、 ガブリエレ・フォーレ:ピアノ四重奏曲第1番 ハ短調 作品15 | | |
| 入場者数 | 141 | 入場率 | 69.1% |
| チケット料金 | (前売) 2000 (当日) 2500 | | |
| 支出 | 委託費 | 1,100,000円 | |
| | 印刷製本費 | 41,661円 | |
| | 計 | 1,141,661円 | |
| 収入 | 入場料 | 329,486円 | |
| | 計 | 329,486円 | |
| 回収率 | | | 28.9% |
| アンケート結果 | <p>四重奏でこれほど重厚な音楽が出る事に感動した。アンコールの「ふるさとの四季」は合唱版の演奏に携った経験があり、ベルギーの方の素晴らしい演奏にただただ驚いた。(市外、40代男性)</p> <p>お値打ちな料金で、本格的で質の高い舞台を鑑賞できるのは、とても魅力がある。これからも幅広く、様々な文化・芸術の開催を期待している。(市内、50代女性)</p> <p>またこのようなクオリティーのクラシック室内楽コンサートを期待している。(市外、50代女性)</p> | | |
| 担当者コメント | <p>姉妹都市であるワーテルロー市で開催されているモーツァルトフェスティバルの雰囲気を長久手市でも感じてもらうために実施した。コロナ禍により二度延期した経緯がある。座席設定を演奏者と客席との距離を近くしたことで、室内楽の雰囲気を出すことができ、出演者のレベルが非常に高かったことから来場者にも好評であった。集客に課題が残ったため、クラシックを聴く世代が集まる場への周知が必要であった。</p> | |  |

長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|--|---|-------------|
| 公演名 | 長久手フィルハーモニー管弦楽団 第37回定期演奏会 | | |
| 日時 | 令和5年11月19日（日） | 14時00分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 森のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業（提携） | 配信 | なし |
| 出演者 | 長久手フィルハーモニー管弦楽団 高谷光信（指揮） 竹内雅一（クラリネット） 聖霊中学高等学校聖歌隊（合唱） | | |
| 公演内容 | 「カレリア組曲」op.11より 間奏曲・バラード（シベリウス）、交響詩「フィンランディア」（合唱付き）op.26（シベリウス／首藤健太郎編曲）、クラリネット協奏曲第2番 変ホ長調op.74（ウェーバー）、交響曲第8番 ト長調op.88（ドヴォルザーク） | | |
| 入場者数 | 534 | 入場率 | 89.7% |
| チケット料金 | （前売）フレンズ会員900円、一般1,000円 （当日）フレンズ会員、一般1,000円 | | |
| 支出 | | | 提携事業のため支出なし |
| | 計 | | 0円 |
| 収入 | | | 提携事業のため収入なし |
| | 計 | | 0円 |
| 回収率 | | | |
| アンケート結果 | 学生の頃はよくオケを見に行っていたが、最近行けず、久しぶりに見る事ができて良かった。（市外、20代女性） 合唱がとても良かった。一気にクリスマス・年末ムードになり、一年に感謝したくなる様な気持ちになった。空調が少し暑かった。（市内、60代女性） 空気の振動が体にここち良いこの感じ。久々の生演奏に感動した。（市外、40代男性） | | |
| 担当者コメント | 市民などで構成されるアマチュアオーケストラ、長久手フィルハーモニー管弦楽団による定期演奏会。今回は、地元アーティストの竹内氏をソリストに迎えて、クラリネットコンチェルトや、聖霊中学高等学校聖歌隊による「フィンランディア（合唱付き）」を日本初演するなど、挑戦した内容とだった。指揮者高谷氏も、別日に、指揮講習会を開催し、当楽団との絆を深めているようであった。 |  | |

長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|--------|---------------------------------------|-----|-------|
| 公演名 | 愛知県立芸術大学オペラ2023「アルチーナ」 | | |
| 日時 | ①令和5年12月9日（土）②令和5年12月10日（日） 14時00分 開演 | | |
| 場所 | 長久手市文化の家 森のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業（提携） | 配信 | なし |
| 出演者 | 愛知県立芸術大学学部生、院生 | | |
| 公演内容 | 歌劇「アルチーナ」（ヘンデル） | | |
| 入場者数 | 779 | 入場率 | 81.3% |
| チケット料金 | （前売）2,000円 （当日）2,000円 | | |
| 支出 | 提携事業のため支出なし | | |
| | | 計 | 0円 |
| 収入 | 提携事業のため収入なし | | |
| | | 計 | 0円 |
| 回収率 | | | |

- アンケート結果
- オペラであるがゲームの中のような話の進め方がおもしろかった。舞台上の字幕もわかりやすくてよかった。（市外、50代女性）
 - この地区でヘンデル「アルチーナ」が聞けてとても嬉しい。もっとバロックオペラを取り上げてほしい。（市外、70代女性）
 - 舞台背景がとても新しくおもしろかった。毎年レベルが高い公演で楽しみ。（市内、60代女性）

担当者
コメント

愛知県立芸術大学生によるオペラ公演。毎年恒例の公演のため、固定客もついており盛況であった。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことにより、コロナ禍以降初めて、以前のようなオーケストラピットを組んだオペラスタイルで開催することができた。アンケートでは学生のエネルギッシュな歌声に元気をもらえたという声が多く挙がっていた。演目は知名度が低いものであったが、ドット絵のゲーム調の演出や美術を取り入れており、目新しいと観客から好評だった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|--|-----------|---|
| 公演名 | 午後の笑時間 東西聴きくらべ落語会 上方の巻 露の紫ひとり会 | | |
| 日時 | 令和5年12月15日（金） | 13時00分 開演 | |
| 場所 | 長久手市文化の家 光のホール | | |
| 事業の種類 | 普及・啓発事業（提携） | | |
| 出演者 | 露の紫（つゆの むらさき） | | |
| 公演内容 | あいかぎの変（作 くまざわあかね） 中村仲蔵 | | |
| 入場者数 | 75 | 入場率 | 91.5% |
| チケット料金 | （前売）1,200円 （当日）1,500円 | | |
| 支出 | | | 提携事業のため支出なし |
| | 計 | | 0円 |
| 収入 | | | 提携事業のため収入なし |
| | 計 | | 0円 |
| 回収率 | | | |
| アンケート結果 | <p>会場のお客さんとのコミュニケーションもうまくとり入れて、楽しく話されたことが、とても良かった。（市外、60代女性）</p> <p>文化の家の自主企画！いいですね。特に長久手の人は落語が好き。「中村仲蔵」の難しい噺を良くぞ頑張られた。（市内、70代男性）</p> <p>映像が目に浮かぶすばらしい語りである！また長久手にお越しく下さい！（市内、50代女性）</p> <p>笑いました。とても良いshow timeでした。（市外、40代女性）</p> | | |
| 担当者コメント | <p>平日の午後の時間帯に笑いを届ける午後の笑時間シリーズ第3弾。東西落語の聞き比べをテーマに、今回は上方落語から女性落語家の露の紫さんを招聘し、光のホールで聞く落語は親近感も生まれ、マクラからお客様をいじりながらのつかみどころの絶妙さに長久手初の露の紫氏だったが、再演の希望やお客の見送りにも快く対応していた。2席目の大作中村仲蔵は江戸時代の歌舞伎映像が目の前に生まれるほどの臨場感あふれる語り口で年末落語を堪能していただけた。</p> | |  |

長久手市文化の家 自主事業報告書

| | | | |
|---------|--|-----|---|
| 公 演 名 | 日東工業presents 吹奏楽フェスティバル in Nagakute | | |
| 日 時 | 令和5年12月17日（日） | | |
| 場 所 | 長久手市文化の家 森のホール | | |
| 事業の種類 | 鑑賞・体験事業（提携） | 配信 | リアルタイムのみ |
| 出演者 | 長久手中学校、長久手南中学校、長久手北中学校、長久手高等学校、栄徳高等学校、愛知県立大学吹奏楽サークル、吹奏楽団響 | | |
| 公演内容 | 合同演奏：海を越えた握手（スーザ）、やさしさに包まれたなら（松任谷由実）、テキーラ（チャック・リオ） | | |
| 入場者数 | 336 | 入場率 | 65.8% |
| 支 出 | | | 提携事業のため支出なし |
| | | 計 | 0円 |
| 収 入 | | | 提携事業のため収入なし |
| | | 計 | 0円 |
| 回 収 率 | | | |
| アンケート結果 | <p>長久手市内の校区・年齢をこえた交流もでき、他学校の演奏を聞けることはとてもいい経験になった。（市内、40代女性）</p> <p>中、高、大学生、社会人といろいろな年代の演奏が聴けたこと、また、一緒に演奏していることが素晴らしいかった。（市内、40代男性）</p> <p>年齢を越えた楽しい雰囲気をとても感じる。長久手市民として大変ほこりに思う。また子供の演奏している機会を与えてもらい感謝！（市内、50代女性）</p> | | |
| 担当者コメント | <p>市内の吹奏楽団体が一同に会する吹奏楽フェスティバル。今年度は合同演奏もコロナ以前の全体合奏を行う形で開催した。練習時間が大幅に減ったものの、普段の部活生活の中で、中学校、高校間で交流を行っており、社会人の楽団に所属するなど、演奏活動を通してコミュニケーションがとれている感じであった。今回も日東工業株式会社にバックアップにより、動画配信も行った。</p> | |  |

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 創造スタッフ劇場「私は私の夢を見る」

日時 令和5年12月23日（土） ①11時00分②14時00分開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業 配信 後日配信のみ

出演者 文化の家創造スタッフ
至学館大学学生ダンサー

公演内容 完全オリジナル作品
原案：小西祐矢（美術系創造スタッフ）
台本：大脇ばんだ（演劇系創造スタッフ）

入場者数 209 入場率 45.4%

チケット料金 （前売）フレンズ・一般500円（中学生以下無料・要整理券）
（当日）フレンズ・一般500円（中学生以下無料・要整理券）

| | | |
|-----|---------|---------|
| 支 出 | 委託費 | 0円 |
| | 印刷製本費 | 12,000円 |
| | 舞台美術材料費 | 80,000円 |
| | 計 | 92,000円 |

| | | |
|-----|-----|---------|
| 収 入 | 入場料 | 75,000円 |
| | 計 | 75,000円 |

回収率 55.3%

アンケート結果 とっても良かった。子ども達と楽しめそうなクリスマス時期の催し物はないかとネットで探していたところたまたまこの公演を知った。（30代女性）
悲しい時には周りを見ることが大切だと改めて知った。ためしてみたい。そして演奏がとてもすてきだった。（10代女性）
言葉と音楽、そしてダンスをとおして、懸命にメッセージを表現してくださっていることが伝わりました。（40代女性）

担当者コメント 創造スタッフ全員が結集して制作する創造スタッフ劇場を開催した。今回の舞台は夢の世界観を反映させたようなセットで、大変好評であった。誰にでも起こりうるような悲しい出来事が起こった時、自分の周りにいる人に支えてもらうことなど、決して一人で生きている訳ではない、という思いが込められており、観客の多くがその意図に気づいたようだ。チラシとタイトルから、どういった内容なのか伝わらづらいという意見があった。

